



## 上小地区賛助会

会報 129号(夏季号)

平成30年7月20日 発行

(公財) 長野県長寿社会開発センター上小支部

総  
会  
開  
催

6月1日(金)13時30分より合庁南棟2階会議室において、来賓をお迎えし平成30年度上小支部賛助会総会を開催しました。

俳画つゆ草会グループ長の泉 濃(あつし)氏を、議長に選出し議事に入りました。平成29年度事業報告、収支決算報告、監査報告が行われ承認されました。続いて平成30、31年度の役員が承認され、平成30年度事業計画案、収支予算案が審議され満場一致で承認されました。新役員の船出となりました。



(新副会長・幹事の皆様(会長留任))

上田警察署生活安全課並びに上小防犯協会連合会女性部による、『特殊詐欺防止対策』の講演と寸劇をお願いしました。

《講演内容》

### (1) 特殊詐欺被害の現状

長野県警察がまとめた特殊詐欺被害の発生状況は、本年1月から5月末までに長野県内52件1億700万円、上田警察署管内は、2件136万円でやや増加傾向である。特殊詐欺被害の多いのは、「架空請求詐欺」と「オレオレ詐欺」です。被害に遭わない様充分注意して欲しい。

### (2) 寸劇

#### ○架空請求詐欺

#### ○オレオレ詐欺

犯人から、「有料サイト閲覧料金が未納になっている。払わないと法廷手続きを取る。」等と言って信用させ、コンビニで、1枚5万円の電子マネーカード3枚の購入させる手口。不審に思った店員の判断で未遂に終わる。



### (3) 三つの防止対策

①留守番電話にしておく ②電話に出ない ③合言葉を決めておく  
不審に思ったら ①払わない ②渡さない ③振り込まない そして自己判断せず知人、家族、警察に相談してください。

公  
開  
講  
座  
・  
講  
演  
会

# 平成30年度 上小地区賛助会事業計画

## (1) スポーツ・リクレーション

月	日	内 容	会 場
10月	1日(月)	グラウンド・ゴルフ交流会(予備日10月15日)	上堀河川敷

## (2) 公開講座(会員加入促進)事業

月	日	公開講座の題目(予定)	講 師
3月	8日(金)	未 定	今後折衝

## (3) グループ活動支援事業

年間事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度長寿社会開発センター事業の説明について</li> <li>シニア大学2年生へ賛助会説明会(12月5日(水)予定)</li> </ul>
グループ活動 支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動費交付申請及び実績報告について</li> <li>共済クラブ使用予約について</li> <li>上小地区賛助会事業への協力・依頼について 等々</li> </ul>

## (4) 元気で・いきいき作品展 一部補助(会員加入促進)事業

元気で・いきいき 作品展 1月下旬に計画	賛助会グループ活動の育成と仲間づくり促進を図るため、 グループ活動等で制作された作品の展示会。 アリオ上田店 一階フロアを会場に予定 出展グループに補助を行う(予算の範囲内)
----------------------------	--

## (5) 上小支部活動発表会事業

月	日	内 容	会 場
11月	22日(木)	文化講演会・作品展示・舞台発表	上田市文化会館

## (6) 上小地区賛助会報「いちよう」発行事業

月	日	内 容
年4回発行		会報「いちよう」の原稿募集・編集・発行

# 平成30年・31年度役員

会 長	堀田 公男	副会長	柳澤 <small>けんじ</small> 乾司	<small>たからべ</small> 財部 浩子
幹 事	<small>としお</small> 若林 利雄	松木 節子	両角 奎吾	小林 <small>いくお</small> 郁朗
	松本 幸雄			
監 事	齊藤 隆文	増田 久義		

# シニア大学上小学部入学式挙行 (向学心に燃えて！44名)

5月9日（水）午前10時より、来賓16名が見守る中、合同庁舎6階講堂において平成30年度（42期生）入学式が、44名の新入生を迎えて挙行されました。

新入生の内訳は、男性16名、女性28名。地区別は上田市37名、東御市、青木村、坂城町、千曲市、佐久市各1名、長和町2名。4月1日現在の平均年齢69.9歳。最高齢84歳です。

長棟美幸学部長から、「長野県は総合五か年計画の中で「生涯を通じて学べる環境の整備」を重点施策の一つに掲げ、人生百年時代を見据えて、シニアの皆さんがますます活躍の場を広げられるよう支援してまいります。皆さまも、大学で様々な活動を通じて、「健康で長生き」を常に心がけていただくとともに、更にご高齢の方や支援を必要とする方ぜひ支えていただきたい。」と語られました。

新入生を代表して、柳澤乾司（けんじ）さんが「仲間との絆を深めるとともに、社会の一員として地域貢献が出来るように学び、実践していきたい。」と抱負を述べられました。



学部長挨拶



新入生代表挨拶



堀場 秀孝県議会議員の来賓祝辞



ケーブルテレビの取材を受ける学生

私の  
社会参加

## 見学当日から ボランティアに

38 期生

中谷 泰治さん

平成 27 年度卒業生（38 期生）中谷泰治さんを土曜日の午前中、上田市社協丸子ボランティアセンターに訪ねました。「ゆうあいまるこ」代表の成沢みつ子さんが、平成 6 年外国人サポートを目的に立ち上げ、平成 8 年に日本語学校としてスタートしました。



子どもも大人も日常生活に困らないように、

【子どもの話を聞く中谷さん】「スタッフが教えられることは教えるので来てください。」とのスタンスを取っています。子どもは学校や日常生活、日本文化を楽しみ、大人はひらがなを覚えると漢字にルビを振ってもらえば読める。次はせめて申請書等に住所を漢字で書くことを目標に努力しています。



（学習の様子）

訪問した日は、子ども 3 名と大人 2 名が熱心に取り組んでいました。現在登録者は子ども 20 名余、スタッフ 8 名。マンツーマン指導が理想ですが、スタッフが不足しています。教職経験のある方、子どもに関心のある方を募集しています。

「特別支援学級に在籍する外国人の子、日本人の 2 倍」と新聞記事に掲載されましたが、ゆうあいまるこではレッテルを張らずに見守ってきました。その結果通常の子と変わらずに学校生活が送れるようになったお子さんもいます。要因は日本語の壁、親の取り組む姿勢が大きいと考えています。子どもたちが来やすいように家庭的な雰囲気大切にしています。



【作文頑張ったね。図書券のご褒美】

10 年前上田市のボランティア講座受講後、見学に訪れた日は猫の手も借りたい忙しさ。いきなり成沢代表から「中谷さん！この子お願いします。」と言われた日を懐かしく思い出し苦笑されました。

懐かしく思い出し苦笑されました。

### 編集後記

今回よりシニア大学卒業生の社会参加活動を紹介する「私の社会参加」を連載します。それぞれの考えや思いにふれ、活動に入ったきっかけ、動機から皆さんが社会にお裾分けをする際のヒントとなればうれしく思います。

【速報】堀田公男会長が、6 月 21 日開催の地区賛助会連絡協議会において、会長に選出されました。任期二年。



梅雨明けが以上に速く酷暑な今夏、体調に留意してお過ごしください。